

G★U★M★B★O

ビジネスマッチングフェア 2017 出展(記者:日浦・藤田泰)

皆さんもご存知の通り、このほど2017年7月19, 20日開催のビジネスマッチングフェアに出展しました。今回の展示会はロボットを特集として前面に押し出しています。クリエイティブ・システムも、その枠に入る形で参加しました。出展物はUR10を使った「計算ロボット」です。

先日、イノベーション推進機構が主催する「産業用ロボット業界参入ワークショップ」に参加した折、主旨の説明がありました。浜松市としては、「産業用ロボットと言えば浜松市」と、全国から称されることを目指しているようです。これもその一環だったのでしょうか。

ブースは昼時を除けば、人がいなくて立ち尽くすということはなく、かなり盛況でした。主観的には製造業の方は年末の仕事任せられる外注先を探しており、あまりロボットには興味を示していただけなかったです。その一方、別の業種の方が興味を示していただけたという感じでした。

「計算ロボット」はご存知の通り、訪問者の方に選んでもらったカードをカメラで読み込み、計算して答えを書きます。カメラが読み込めなかった場合などは「？」を書くようになっています。しかしながら、特に、一般の方はロボットがきちんと答えを書くよりも、ペンのキャップを外したり、「？」を書いたりといった、自分としてはオプション的な機能が喜ばれたことが驚きでした。一般の人との感覚の差を思い知った一幕でした。

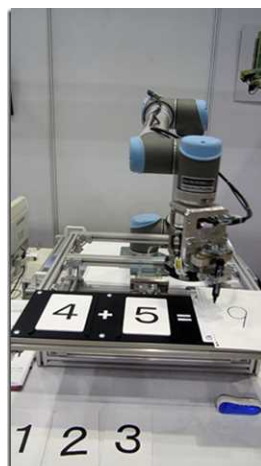
次なるデモはどうしたものか、と思いをはせながら、ロボット係としても浜松市を中心にロボットを広めていくためにがんばっていきたいと思います。

藤田です。クリエイティブ・システムの展示会へのロボット出展は、昨年につき2回目でした。日浦が記しているとおおり、今年も多くのお来場者を得て好評のうちに終了しました。

現在、ロボット産業は産学官を含めて、国がもっとも力を入れている分野の一つです。また、浜松市もロボットを次世代産業として、形成・発展させる施策を進めています。最近では、サービス産業へのロボットの進出が喧伝されています。これは、話題性もあり、マーケティングの有効なツールとして認知され始めています。また、介護や農業分野における作業負荷の軽減などへの利用も注目を集めています。この方面へのロボットの浸透は、さらに加速するでしょう。

当社の場合は、専門である製造業に対するアプローチを継続します。ただし、対象は自動車産業に限定することなく、幅広い情報収集と営業展開を心掛けます。

まだ、始動したばかりですが、ロボット係への協力をお願いいたします。



創立記念パーティー(記者:大澤)

今回、は趣味の鮎の友釣りについて書いてみようと思います。

鮎は年魚と言われ、秋に産卵、孵化した稚魚は海に下り、冬を越し、翌春川を上ります。稚魚の時は肉食で主に川虫を食べ、成長とともに草食に変化していきます。草食となった鮎は、川石についた苔を主食にしますが、鮎の好む苔は、水流があつて石の表面が磨かれた場所に限られます。(古い苔は



水流で流され、絶えず新しい苔が着くためです) 鮎は、おいしい餌を独り占めしようと、石の周りに縄張りを作り、新たに餌を求めて来た鮎を追い払うため体当たりをします。鮎の友釣りは、縄張りを持った鮎の所に囷となる鮎を誘導し、囷鮎が体当たりをされたときに針に掛ける釣り方です。

私は、友釣りをするようになって15年ほどになりますが、以前と比べて縄張り鮎が少なくなってきたように感じます。良い苔の着いた石には1番手、2番手、3番手くらい鮎がいることはよくあることでしたが、最近では2番手がいる石は少ないです。

養殖鮎は、小さなうちから放流されるまで、肉食性の餌を十分に与えられ縄張り意識は少ない特徴を持っています。その様な養殖鮎の放流が盛んな川では、特に縄張りを持つ鮎が少なく、群れを作る鮎が多いと感じます。縄張り鮎を釣るだけでは釣果は伸びず、群れている鮎を釣るのが最近のテーマになっています。生餌を操るのは奥が深いですが、イメージ通りに釣れると病みつきになってしまいます。

今回は趣味の鮎釣りについての話でした。最後まで読んでくださりましてありがとうございました。

新編集員(記者:吉野)

今期から、社内報に携わる事になりました。吉野です。これから、杉浦さんのサポート役として、精進してまいります。私は、人間の心理について、興味が若干あります。今回は、人間関係で使える心理学などを記述していきます。テーマは「人をやる気にさせるには、報酬が必要」です。人をやる気にさせるには報酬が必要ということについて、解説していきます。

人間誰しも、報酬がなければやる気が出ません。やる気については、モチベーションとも言われますが、報酬が大きければ、大きいほどやる気はでるものです。もちろん、報酬がいいといってもいろいろなものがあります。お金も報酬の一つですが名誉、名声、地位、褒めてもらうことなど、様々なものが報酬になり得ます。お金や名誉、名声など具体的な報酬が得られないのに、一生懸命頑張っている人は内的な報酬、すなわち自分自身への満足を報酬としていることが多いです。

いずれにしても、やる気を出してほしければ、何らかの報酬を用意する必要があるということです。なお、一つ注意点があり、人それぞれ、報酬に対する価値観が違うということです。その人に対して、どれくらいの効果があるのか、ある程度見極める必要があります。また、報酬を受け取るのを拒否し、誰かの助けになったことに、自分で満足を得る人もいるので、どのような報酬を与えるかは、よくよく考えておく必要があるそうです。

以上、これからも心理学について、興味をもった内容を紹介していきます。宜しくお願いします。

気になったこと(記者:杉浦)

皆様、如何お過ごしでしょうか? 体調は大丈夫ですか? ここ数週間、のど・鼻が不調な編集長です。

日本人の癌死亡率、一位は肺癌、二位は胃癌です。ピロリ菌(ヘリコバクター・ピロリ)は、胃癌の原因としてよく聞きます。胃癌でなくても、胃潰瘍など、胃に関連した病の原因になります。先日、ある研究結果が発表されました。ピロリ菌は、人胃粘膜にすみつく病原細菌で、この菌の作りだす物質と体内の酵素が結び付き、細胞の異常化が促進されます。東アジアと欧州のピロリ菌では結び付きの強さに違いがあり、東アジアのピロリ菌のほうが、より結合が安定化していることで、癌化につながっていることが発見されたとのことです。

貴方の胃は大丈夫ですか? 胃の不快感はサインかもしれません。ちょっとした変調が...それでは皆様ごきげんよ~^^/

